

2022. 1. 13

報道関係者 各位

< 配信枚数2枚 >

人文科学研究所主催シンポジウム「ツーリズム・モビリティーズを問い直す——
COVID-19 以後のモビリティ・ジャスティスとは何か」開催
日 時：2022年1月23日（日）13：00～17：30
開催方法：オンライン（Zoom Webinar）

立命館大学人文科学研究所は、1月23日（日）、シンポジウム「ツーリズム・モビリティーズを問い直す——COVID-19 以後のモビリティ・ジャスティスとは何か」を開催いたします。

観光は、グローバルな移動（モビリティ）を作り出す重要な産業です。新型コロナウイルスによって、グローバルな移動が制限されてしまいましたが、私たちは観光が未来に向けて、いかなるものへ変わっていかねばならないかを考えるべきです。地球環境を破壊しようが、金銭さえ払えば自らの楽しみのためにジェット機で何度でも移動しても良いということではなく、地球（グローバル）と地域（ローカル）を同時に視野に入れ、移動の公正さ（モビリティ・ジャスティス）を考慮に入れたものへと変わっていく必要があります。本シンポジウムでは、公正でグローバルなモビリティとは何かを問いながら、アフターコロナ時代の観光の新しい可能性について展望します。

記

日 時：2022年1月23日（日）13:00～17:30

開催方法：オンライン（Zoom Webinar）

言語：日本語／英語（同時通訳有）

参加費：無料

申し込み： <https://forms.gle/hNWZvrTuoBiLjGrM7> よりお申し込みください。

【締め切り:2022年1月21日（金）17:00】

主催：立命館大学人文科学研究所・重点プログラム「グローバル化とアジアの地域」

以上

本リリースの配布先：京都大学記者クラブ

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学衣笠リサーチオフィス 担当：野村

TEL.075-465-8225

<http://www.ritsumeai.ac.jp/research/ihss/>

プログラム ※敬称略

総合司会：谷崎友紀（せとうち観光専門職短期大学 助教）

13:00 開催挨拶 藤巻正己（立命館大学 文学部 教授）

13:10 ミミ・シェラー氏（※）紹介 遠藤英樹（立命館大学 文学部 教授）

13:20 基調講演 ミミ・シェラー（ウースター工科大学 グローバル・スクール 学部長）

「Ethical Tourism and Mobility Justice after the Pandemic: The Future of Global Travel」

日本語訳：パンデミック以後の倫理的な観光とモビリティ・ジャスティス（移動の公正さ）——
グローバルな旅の未来）

※事前収録した動画を配信

14:30 パネリストによる発表

アダム・ドーリング（和歌山大学 観光学部 准教授）

伊藤嘉高（新潟医療福祉大学 医療経営管理学部 講師）

原 一樹（京都外国語大学 国際貢献学部 教授）

渡部瑞希（帝京大学 経済学部 講師）

遠藤英樹 ※コーディネーター

16:30 コメント

神田孝治（立命館大学 文学部 教授）

山本理佳（立命館大学 文学部 准教授）

16:50 ディスカッション

※ミミ・シェラー氏プロフィール

人文・社会科学の領域におけるモビリティ研究の主要な理論家の一人として、故ジョン・アーリ氏とともに「新たなモビリティーズ・パラダイム」を展開してきた。現在は、米国マサチューセッツ州にあるウースター工科大学グローバル・スクールの初代ディーンを務める。